**戸越小学校**

　私は戸越小学校です。昭和9年6月28日にこの地に誕生し、昨年88歳を迎えました。今回のリレーエッセイは人物ではなく「戸越小学校」です。

ところで、皆さんは戸越小の校章をご存じでしょうか。「さくら」の花びらを模した型はよく見かけますが、戸越小の校章は「もも」の花をモチーフにしています。これには次のような経緯がありました。現在の戸越小がある一帯は、江戸時代に細川越中守の屋敷でした。広い庭には、森や山、谷川や滝が配置され、さながら理想郷のようなところでした。そこで開校のころ、東京でありながら自然環境に恵まれたすばらしい場所を中国の昔話にある桃源郷にたとえ、「もも」の花を校章のモチーフにし、花びらの中央に「戸」を5つ配置して「とごし」を表した、ということです。

　現在の戸越小は、戸越公園、戸越体育館、都立大崎高校、文庫の森、エコルとごし(環境学習交流施設)に囲まれ、環境的にも文化的にもたいへん恵まれているといえます。この立地を生かし、豊かでたくましい子ども達を育てていきたいと考えています。 品川区立戸越小学校副校長 川田重久(筆)

次回は、豊町五丁目町会にバトンタッチ

**「ちょっとしたお困り事」ご相談ください**

支え愛・ほっとステーションでは高齢者の方を対象とし、日常生活のちょっとしたお困り事をボランティアの方が３０分２００円でお手伝いをする「ほっとサービス」を行っています。

　「足が悪くて買い物に行くことができない」、「暖かくなってきたら一緒にお散歩してほしい」、「高いところの電球交換ができない」など暮らしの中でのちょっとしたお困り事はありませんか？そのようなときは、支え愛・ほっとステーションへご相談ください。

お電話をいただければ支え愛・ほっとステーションの職員がご自宅に伺い、お話を聞かせていただきます。ボランティアでの対応が難しいと思われた場合でも、ほかのご紹介先などをお探しし、一緒に考えさせていただきます。

ご相談は無料です。こんなことでも頼めるかと迷われた時も、まずは支え愛・ほっとステーションへ！お気軽にご相談ください。